

# 「N・SAS-BC 01 試験」に付随する転帰調査へのご協力をお願い

## 1. 研究の目的と意義

「腋窩リンパ節転移陰性 high-risk 症例を対象とした UFT と CMF に関する術後補助化学療法無作為化比較試験」(N・SAS-BC 01 試験)に、1996 年 10 月から 2001 年 4 月の間に全国で 733 例が登録され、当院からも多くのご参加を頂きました。あらためて厚く御礼申し上げます。

その後、手術後 5 年間の経過を調べ、そのデータを論文にて発表させていただきました。この論文における結論は、早期乳がんにおける再発抑制効果は UFT と CMF は同等であることが示唆されるというものでした。

しかし一般的に乳がんは経過が長く、正確な結論を得るためには、手術後 10 年間以上の長期にわたって状態を調べていく必要があります。

そのため、N・SAS-BC 01 試験に参加頂いた方の現在のお身体の状態について、改めて調査をさせていただきたいと思えます。

この研究は、2017 年の 6 月に終了する予定です

## 2. 研究の方法

カルテ記録や電話、お手紙で、N・SAS-BC 01 試験に参加された方の現在のお体の状態を調べさせていただきます。そのため、新たな診察や検査の必要はありません。

## 3. 個人情報とプライバシーの保護について

この研究は、当院の倫理審査委員会で倫理性・科学性が検討され承認されています。あなたの情報を調査機関に提供する際には、あなたを特定出来る情報(お名前、住所、電話番号など)は記載しません。とりまとめた情報を医学雑誌などに発表する場合も、個人が特定されることはありません。

この研究にご自分の情報を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この研究への参加をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。また上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。その場合はあなたのデータを集計に用いることはいたしません。

連絡先 群馬県立がんセンター乳腺科 電話：0276-38-0771

研究責任者：柳田 康弘